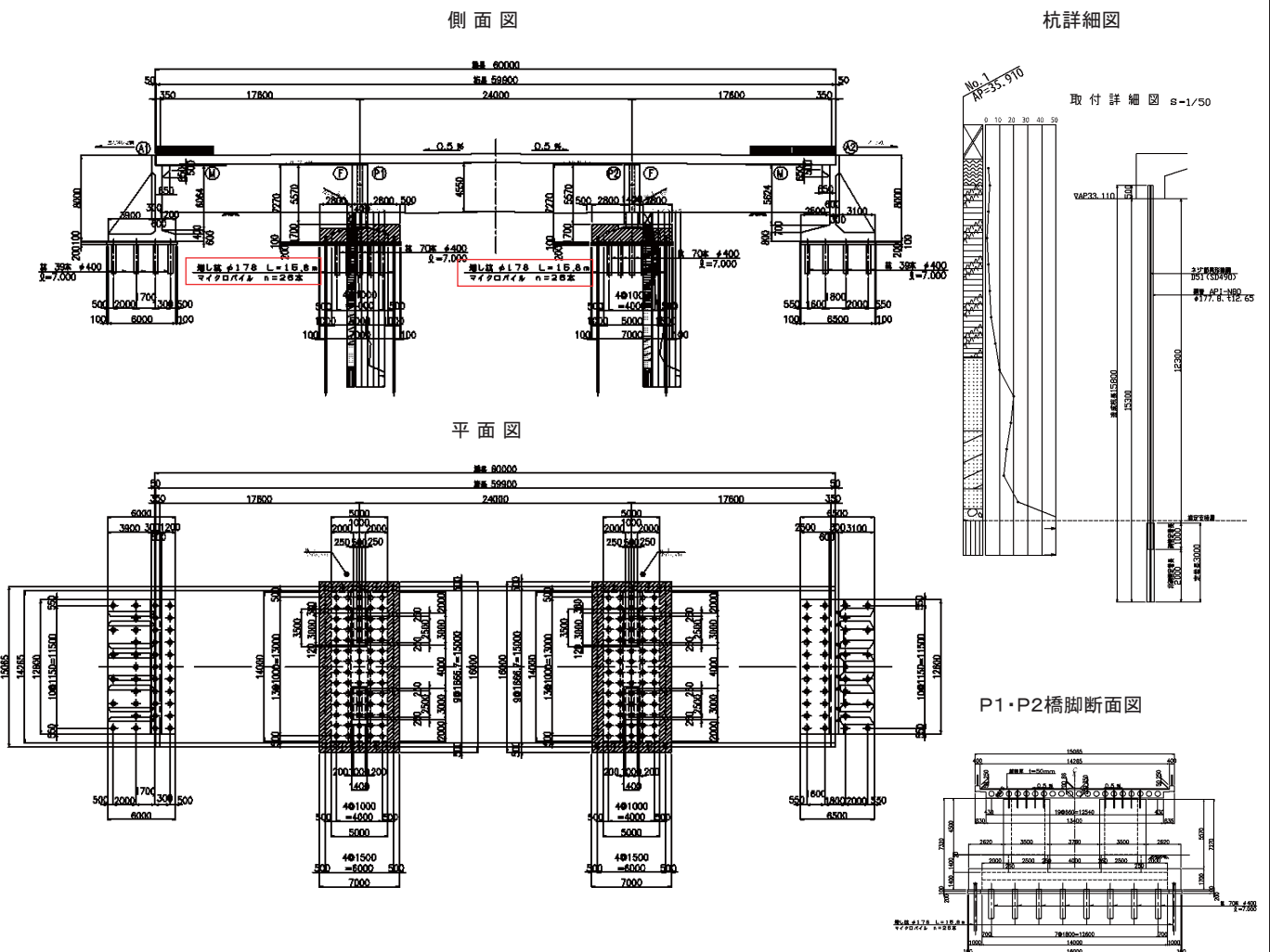
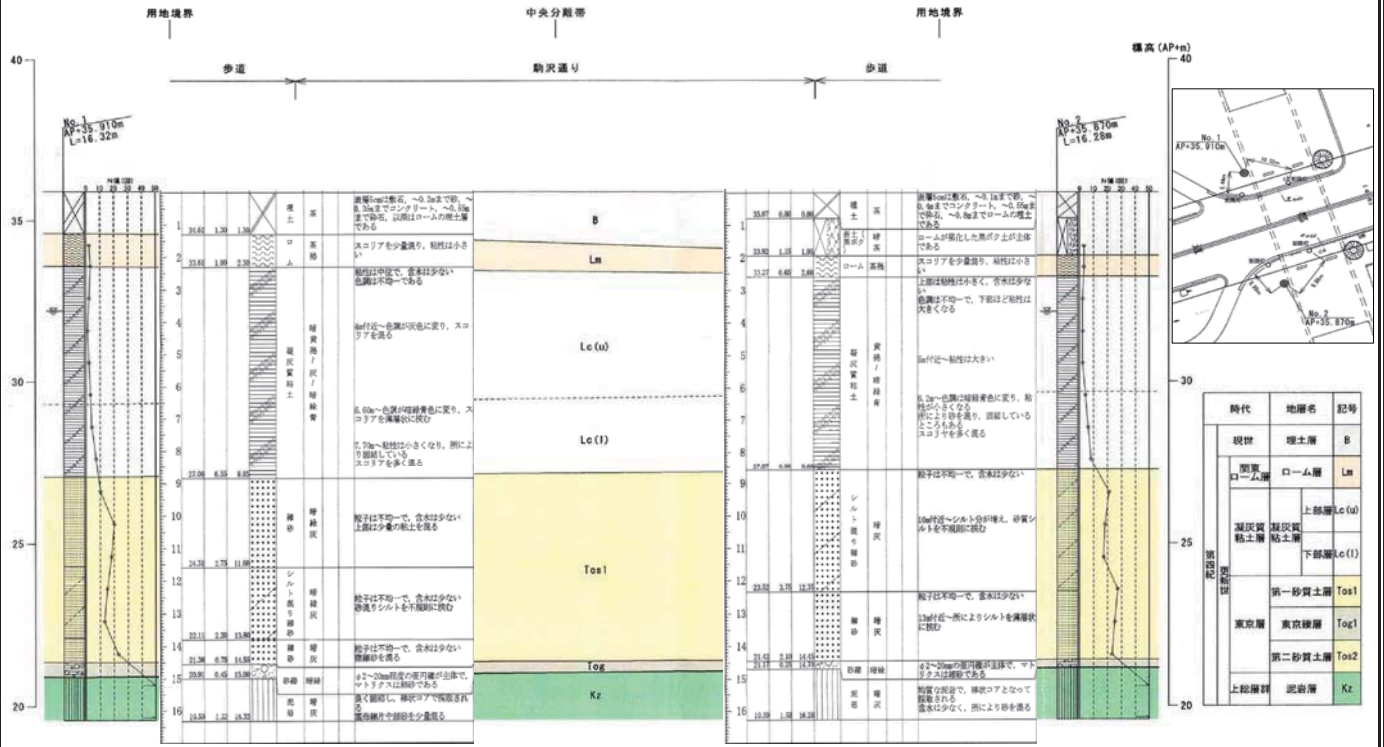


用途	歩道橋橋脚基礎耐震補強	<b>工事の特長</b> ・本橋梁は、駒沢オリンピック公園内の歩道橋で、交通量の多い駒沢通りに架かるオーバブリッジである。  ・既存交通(車両および人)を確保した上、空頭制限4.5mで施工可能な既設橋脚の耐震補強工法として、高耐力マイクロパイルが採用された。  ・敷地が狭く、先行掘削してしまうと施工機械の配置が不可能となるため、インターロッキングおよびベースコンクリートを撤去し、約2.5mのヤットコ打設を行った。  ・道路側施工時には、泥水等飛散による第三者災害防止の目的で、敷地境界にシートフェンスを設置した。  ・プラントは橋台と橋脚間に配置し、P2施工後にP1側へ移設した。駒沢通りは中央分離帯で仕切られており、交通量も多いため、機材移設には運搬車両を使用した。
工事名	駒沢オリンピック公園橋耐震補強工事(その4)	
工事場所	東京都世田谷区駒沢公園地内	
発注者	東京都東部公園緑地事務所	
施工時期	平成20年10月～平成21年3月	
杭形状	P1橋脚：直杭 15.8m×26本 P2橋脚：直杭 15.8m×26本	
杭延長	821.6m	
鋼管仕様	API N-80 φ177.8×12.65t	
標準鋼管長	1.5m	
鉄筋仕様	SD490 D51	
標準鉄筋長	2.0m	
削孔方式	ロータリーパーカッション二重管方式	
削孔機	クローラタイプ(MKD-106)ショートブーム	
空頭制限	5.0m	
上層地盤	粘性土・砂	
定着地盤	泥岩	

概要図



土質柱状図



施工状況写真



現場全景



完成全景(P1)



機械配置状況



施工状況

施工状況写真



施工状況



施工状況



インナーロッド



特殊インナービット(泥岩用)



道路側飛散防止(シートフェンス)



プラント設備(P2)



産廃処理(泥水)



産廃処理(グラウト残塊)